



資源ステーション

～キレイにはワケがある VOL.2～

昨年6月より全町でスタートした戸別収集と資源ステーション。
 前回に引き続いて資源ステーションを工夫して使っている町内会をご紹介します。
 今回はつつじヶ丘町内会長さんにインタビューしてきました。

＜第2回 つつじヶ丘町内会＞

Q. つつじヶ丘の資源ステーションには立派な掲示板がついていますね。

A. お隣にある牛ヶ谷戸町内会を見習って作成しました。屋外用の掲示板をインターネットで探して、一台あたり9千円で作りました。資源物の出し方や注意点、収集カレンダーも町内会で作り、掲示しています。資源物を出す時に確認できると好評です。

Q. 資源ステーションに変わって良くなったことはありますか？

A. 以前のごみステーションの時にはひどい捨て方をされていましたが、そういうことは減り、キレイになりました。コミュニケーションも増えたように感じます。

Q. 町内会の取り組みを教えてください。

A. 町内会の組織に資源ステーションやごみ出しのルールを啓発する専属の部を設けました。当初の3ヶ月間はコンテナ出しの当番やアドバイスを役員やブロック長、有志のみなさんで担当しました。現在は第1ブロックでだけ当番制が残っていて、その他は最初の方がコンテナを出して



資源ステーションに設置された掲示板

います。また出勤前の忙しい人は自分が使うコンテナのみを出すだけで良いことにしました。

Q. 資源ステーションの使い方で困っていることはありますか？

A. 工事関係者や町内会以外の人かもしれませんが、以前のごみステーションのままの感覚でゴミを捨てていくことがあります。

※色付きペットボトルやトレイなどの戸別収集のごみや、粗大ゴミを出されると困ってしまいます。そのような間違いについては貼り紙で注意を促したため、現在はずいぶん減りました。また将来的には防犯カメラの設置を検討しています。

(※色付きペットボトルやトレイは容器包装プラスチックです。)

Q. 会長のお宅では「燃やすごみ」は減りましたか？

A. 生ごみは以前から自家処理していたのと、紙なども資源回収に出していたので改めて減ったという印象はありませんね。



つつじヶ丘町内会長星野さん

インタビューを終えて

つつじヶ丘自治会（京浜団地）は葉山で一番初めに開発された住宅団地。「ごみを減らす」「自分たちのことはできるだけつつじヶ丘流でやる」という意識に脱帽しました。



戸別収集のルールと出し方を見直そう！

ルール1

午前8時30分までに
出しましょう！

※収集は8時30分から順次開始し、道路状況や天候などに応じて収集ルートを変更しています。



ルール2

袋は透明か半透明！

※中身が見えないと分別が正しいかどうか判断できず収集に時間がかかります。



◆ごみ箱を用意してるかな？

風に飛ばされたり、カラスなどの動物に荒らされないようごみ箱を利用しよう。

◆ごみ箱はきれい？

生ごみの汁などがそのままになっていると不衛生で収集にも手間取ります。ごみ箱は清潔にしておこう。

「ごみっぺらし通信」お問い合わせ先：環境課（876-1111内線454）

町のホームページからご覧いただけます。

ごみっぺらし通信

検索

「ペ」のバックナンバーあります。欲しい方は環境課まで☆